



2024 年 11 月 25 日

各 位

会社名 株式会社グラッドキューブ
代表者名 代表取締役 CEO 金島 弘樹
(コード番号：9561 東証グロース)
問い合わせ先 専務取締役 CIRO 財部 友希
ir@glad-cube.com

クラウド化およびデジタル・VR 技術によるデジタル取扱説明書の開発に関するお知らせ

株式会社グラッドキューブ（本社：大阪府中央区、代表取締役 CEO 金島 弘樹、証券コード：9561、以下、「当社」とする）は、クラウド化および VR 技術によるデジタル取扱説明書（以下「本デジタル取扱説明書」）の受託開発を行い、ゼネコン大手企業の清水建設株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 井上 和幸、証券コード：1803、以下、「清水建設」とする）へ提供をいたしましたのでお知らせいたします。

記

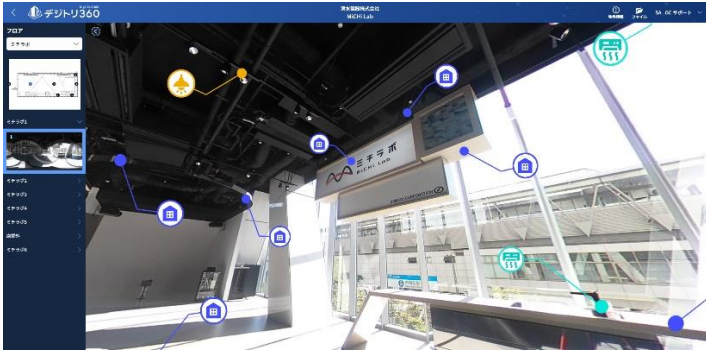
1. 本デジタル取扱説明書の開発背景

清水建設より、建物の竣工時に引き渡す取扱説明書や設計図書などにおいて、今までは取扱説明書データをインポートしたタブレット端末だけで閲覧できていたため、これらのデータをクラウド化し、且つ VR 技術によりさらに利便性を高くしたい旨の依頼を受け、本デジタル取扱説明書の開発に至りました。

2. 本デジタル取扱説明書の概要

本デジタル取扱説明書は、当社が得意とする VR 技術により 360 度まわりを見渡せる、疑似的な VR 空間を表現しており、建物の施主がタブレット端末を使うことで、施設の維持管理や機器使用時の利便性向上につながり、さらにクラウド化することで「いつでも」「どこでも」アクセスが可能となります。

この VR 空間には建物内部の電気や空調などの設備にアイコンを表示し、そのアイコンにアクセスすることで各種取扱説明書に加え、設計・施工時に必要な情報が記載された設計図書も PDF 形式で確認できるようになっております。テナントの入居予定者なども、360 度まわりを見渡せる、疑似的な VR 空間により、パンフレットや紙の図面に比べて建物情報のイメージが掴みやすくなり、入居後もさまざまな取扱説明書をデジタル化することで管理がしやすくなると考えております。



(建物のデジタル証明書)



(タブレットでいつでも閲覧)

また、清水建設が取扱う沖縄県首里城正殿の復元工事や渋谷栄一の旧邸宅移設工事の際にも、当該技術が使われる予定であり、工事途中の経過などのデータ画像が保存されることで、伝統木造建築の技術伝承や施設の維持管理などにも資するものと期待されております。

今後も引き続き、清水建設のニーズに応えるべく、本デジタル取扱説明書のさらなる機能追加など、新たな開発を行い、提供していく予定であります。

当社が持つ、デジタル・VR技術に加え、生成AI技術により、DX推進やデジタル化に課題をお持ちの企業のDX化に役立ってまいりたいと考えております。

当社は、この領域の市場ニーズは非常に高いものと考えております。経営資源の一部を本領域に関する事業へシフトさせ、収益の拡大を図ってまいります。

3. 今後の見通し

本件について、当社の業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。

■本リリースに関するお問い合わせ

株式会社グラッドキューブ

IR 担当者：太田

メール：ir@glad-cube.com

以上